



ひと・はま・みち

元気あふれるくぬっばい

柁原づくり計画

平成 30 年 12 月

柁原地区公民館

見直し版

ひと・はま・みち
元気あふれる くぬっばい
～柘原づくり計画（見直し版）～

もくじ

1	柘原づくり計画（見直し版）について	P 1
2	柘原はこうありたい（行動計画）	P 2 ~12
3	参考資料		
(1)	こんなことをやってきた（柘原づくりの歩み）	...	P13
(2)	柘原づくり計画見直し委員会名簿	P15
(3)	策定経過	P16
	あとがき	P17

1 柘原づくり計画（見直し版）について

柘原づくり計画（計画期間：H25～H34 年度）は、平成 25 年度に策定した「初版」の考え方に沿って、これからの中後期のために、平成 30 年度にわたしたちが考え、意見を出し合って、行動計画の見直しを行いました。

わたしたちは、これまで計画に基づいて地域づくりに取り組んできましたが、新しいことへの挑戦や既存計画の充実を図る必要がありました。

今回の行動計画の見直しによって、行政や関係機関と協働し、力を合わせ、住みよい柘原を目指して柘原づくりを進めていきます。

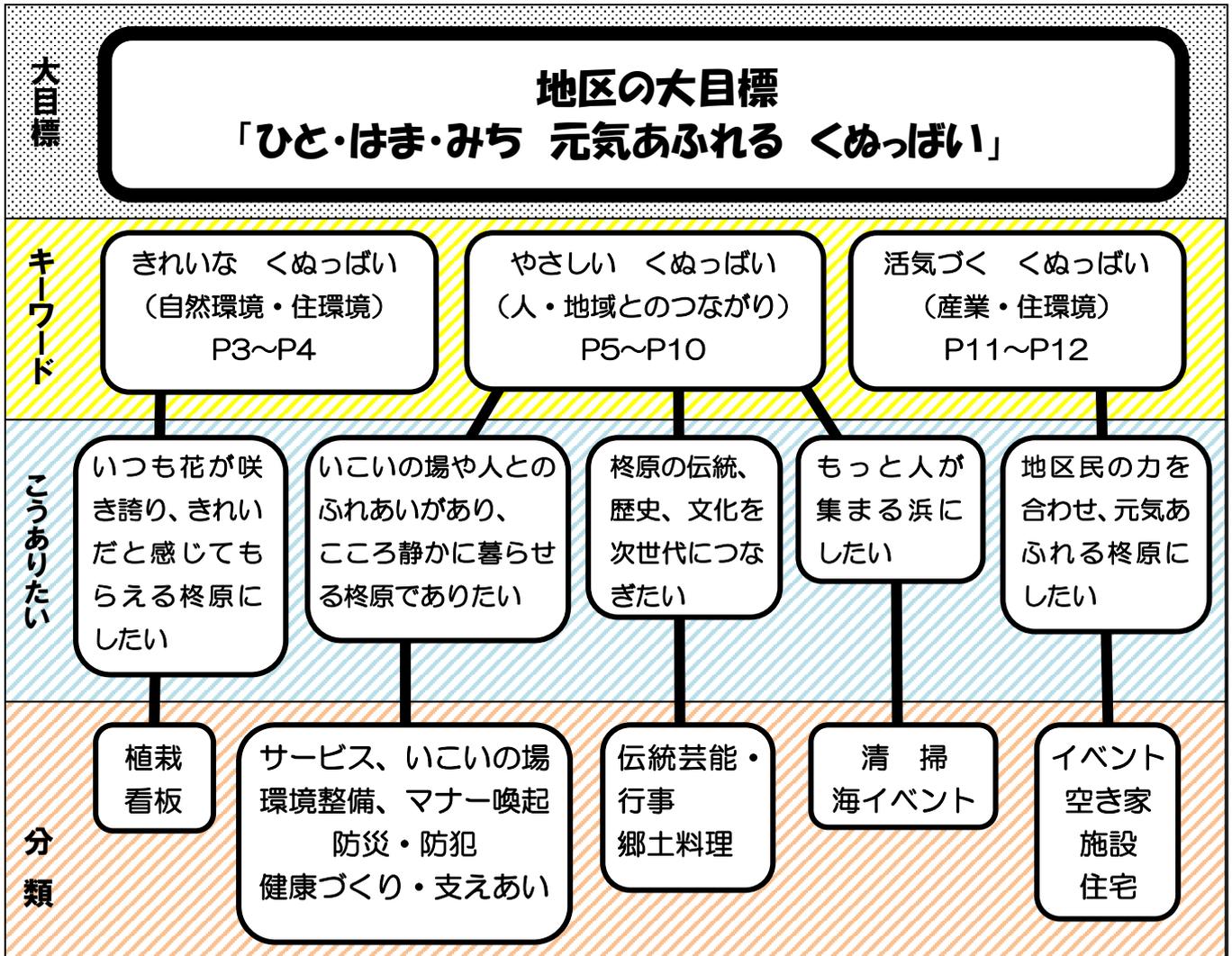


▲ H25 年度柘原づくり計画（初版）
策定委員会



▲ H30 年度柘原づくり計画（見直し版）
策定委員会

2 柘原はこうありたい（行動計画）



2 柘原はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	分類	だれが
			地域・団体名・市・県・国
きれいな くぬっばい（自然環境・住環境）	<p>いつも花が咲き誇り、きれいだと感じてもらえる柘原にしたい</p>  <p>▲ 植栽活動のようす</p>  <p>▲ 地区のアピール看板</p>	植栽	柘原地区公民館 各振興会
			並松振興会 下東振興会
		柘原地区公民館 各振興会	
		看板	柘原地区公民館 各振興会

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目) 平成25～27年	中期(4～6年目) 平成28～30年	後期(7～10年目)	
<p>○国道沿いの花だん管理は振興会単位で取り組む</p> <p>○地区公民館の話し合いで植える花、時期などを考えて年次計画(作型)を決める</p> <p>○地区公民館と国交省との長期協定を結び、協定に基づく活動を行う</p>	<p>○植栽活動について、地区公民館主導で活動を展開する (国道沿いの花だん管理、草取り・植える花の種類・時期を考えた年次計画、国交省との長期協定に基づく活動等)</p> <p>○振興会や関係団体は、地区公民館に協力して植栽活動に取り組む</p>		
<p>○鉄道跡の桜を継続して管理し、花見をする</p>			
<p>○その道、はま道やその他の道にも花植えの取組をひろげていく</p>	<p>— —</p> <p>(各家庭へマナー向上・管理を呼びかけていくことから、削除)</p>		
<p>○アピールする看板を設置する</p>	<p>○アピール看板の維持管理を行う</p>		

2 柘原はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	分類	だれが	
			地域・団体名・市・県・国	
やさしい くぬっばい（人・地域とのつながり）	<p>いこいの場や人とのふれあいがあ り、こころ静かに暮らせる柘原であり たい</p>  <p>▲ 刃物研ぎサービス</p>  <p>▲ 奉仕作業</p>	サー ビス	ボランティア有志 後継者	
		い こ い の 場	柘原地区公民館	
			市	水道課
		環 境 整 備	柘原地区公民館 各振興会	
マ ナー 喚 起	市	土木課	生活環境課	

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1~3年目) 平成25~27年	中期(4~6年目) 平成28~30年	後期(7~10年目)	
○地区民に広く呼びかけ、アミ戸のアミ張替や、刃物研ぎ等のサービスを行う	○アミ戸張替や刃物研ぎの後継者を増やす		<p>※1 水道事業は、<u>1一般会計</u>からの繰入れのない<u>2企業会計</u>で運営しておりまして、皆様の水道料金により賄われておりますので、水道課といたしましては、企業会計による水道事業以外の事業実施は、難しいと考えております。</p>
○地区公民館をいこいの場としてさらに活用する			
○柘原水源地ポンプ室跡地に、ベンチのあるいこいの場をつくりたい			<p>※2 集落道の側溝整備につきましては、要望がありました際、整備を実施しております。 柘原地区内の未整備箇所につきましては、現状は道路となっても用地を調査しますと個人所有地となっており、要望があったものの側溝を布設できなかったこともありまして、個人所有地への布設は、地権者の同意があれば整備は可能であるのではと思いますので、その際は地域でも同意のご協力をお願いいたします。</p>
○ポンプ室跡地を活用して、柘原貝塚を紹介したり出土品を展示する場所をつくりたい	—— (柘原地区公民館、文化会館等で展示・保管しているため、削除)	——	
○柘原水源地ポンプ室跡地については、水道事業以外の目的のための施設の解体・撤去、また整地等を行うことは難しいです ※1			<p>※3 釣り人等のマナー向上を目的とした看板につきましては、<u>3錦江湾奥会議</u>の<u>4環境専門部会</u>で作成した看板を8月に設置したところで、今回の要望に対しまして、平成30年11月に同じ内容の看板を設置する予定としておりますが、それ以外に看板の内容や場所等についてご要望がございましたら、作成して設置いたしますので、その旨お聞かせください。</p>
○自宅周辺の集落道の清掃を行う	○その道、はま道、集落道など、自宅周辺の清掃や剪定を行う		
○集落道の排水改善をしてほしい			<p>(用語説明)</p> <p>1.一般会計……国及び地方公共団体の官庁会計における区分の1つで、財政を包括的、一般的に経理する会計のこと。</p> <p>2.企業会計……企業(主として営利企業)に適用される会計をいう。</p>
○その道の防犯灯を増設する(事業完了)	——	——	
○ペットの飼い主のマナー向上を図る			<p>3.錦江湾奥会議……錦江湾奥部に位置する4市(鹿児島市・始良市・霧島市・垂水市)が行政区域を越えて連携し、環境、水産、観光、交通、防災、教育等に係わる様々な施策・事業について、お互いに知恵を出し合い、協働することにより、地域活性化を図ることを目的として設置された組織。</p>
○農地周辺や港をきれいにする			
○集落道の排水改善については、協力いたします ※2			<p>4.環境専門部会……錦江湾奥会議を構成する専門部会の1つで、環境に係わる施策・事業について協議する。その他の専門部会として、観光専門部会・防災専門部会・広報専門部会がある。</p>
○南港をきれいにする取組については、マナー向上の看板を設置いたします ※3			

2 柘原はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	分類	だれが	
			地域・団体名・市・県・国	
やさしい くぬっばい（人・地域とのつながり）	<p>いこいの場や人とのふれあいがあり、こころ静かに暮らせる柘原でありたい</p>  <p>▲ あいさつ運動(青パト隊)</p>  <p>▲ サロン活動(ひいらぎサロン)</p>	防犯・防災	柘原振興会青パト隊	
			柘原地区公民館 各振興会 老人クラブ 高齢者学級 民生委員	
		健康づくり・支え合い	市	総務課
			福祉文教部会	

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目) 平成25～27年	中期(4～6年目) 平成28～30年	後期(7～10年目)	
○青少年育成のため、引き続き青パト隊を推進する			<p>※4 柘原地区の避難所につきましては、一般災害(風水害)時には地区公民館を一次避難所、柘原小学校体育館を予備避難所として指定しております。</p> <p>また、地震や津波、高潮等の災害時は、柘原小学校体育館を一次避難所、柘原地区公民館を予備避難所として指定しております。</p> <p>このような災害発生時には、輸送班を配備しまして避難者を安全な避難所へ輸送するよう、災害の状況に応じて対応する避難体制をとっております。</p>
○地域防災の強化、地域で避難訓練を行う			
○避難体制の充実を図る			
○老人クラブ、高齢者学級の参加者を増やす			
○ひとり暮らしの高齢者へあいさつ、声かけを行う			
○健康体操や貯筋運動を行い、健康づくりを行う			
○地区避難所の機能充実については、災害の状況に応じた現状の避難体制での対応を考えております ※4			
○地区の困りごとを解決するため、有償ボランティア組織をつくる			

2 柁原はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	分類	だれが
			地域・団体名・市・県・国
やさしい くめっばい（人・地域とのつながり）	柁原の伝統、歴史、文化を次世代につなぎたい  <p>▲ 大津絵節</p>	伝統芸能・行事	柁原地区公民館 子ども育成会 郷土芸能保存会
			郷土料理
	もっと人が集まる浜にしたい  <p>▲ クリーンアップ作戦・夏の部</p>	清掃	柁原地区公民館 各振興会
海イベント			

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目) 平成25～27年	中期(4～6年目) 平成28～30年	後期(7～10年目)	
<p>○「おろごめ」、「かべうっくじい」、「浜駅伝」、「大津絵節」を続けていく</p>			
<p>○伝統行事、伝統芸能のあり方や行事日程を調整する話し合いを行う</p>			
<p>○「大津絵節」を工夫して若い世代へ伝承する</p>			
<p>○人と人のつながりをつくるため、郷土料理の作り方を地区の高齢者から教わる (三月節句のだんご、ふくれ菓子、がね、えびつけあげ等)</p>			
<p>○学んだ郷土料理の作り方を、若い世代に継承する</p>			
<p>○海岸清掃に声をかけ合って参加する ・夏(クリーンアップ作戦) ・12月浜そうじ</p>			
<p>○キス釣り大会や貝掘り大会等、海を活用した多くの人が参加するイベントを行う</p>			

2 柁原はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	分類	だれが			
			地域・団体名・市・県・国			
活気づく くめっばい (産業・住環境)	<p>地区民の力を合わせ、元気あふれる柁原にしたい</p>  <p>▲ 柁原小学校魚釣り大会</p>  <p>▲ ふれあい活動(グラウンドゴルフ)</p>	イベント	有志 柁原小学校			
			民泊受け入れ家庭			
			柁原地区公民館 各振興会			
		施設	柁原地区公民館 各振興会			
		空き家				
		住宅	市	土木課		

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目) 平成25～27年	中期(4～6年目) 平成28～30年	後期(7～10年目)	
○収穫体験など農業が好きになるようなイベントを組み立て、実行する (収穫祭と避難訓練の同時開催など)			<p>※5 5垂水市公営住宅等長寿命化計画において、平成33年から34年の2か年で、老朽化した市営住宅柘原団地(錦町)の建替を予定しております。</p> <p>市営住宅は、所得等の面から6最低居住面積水準を満たす広さの住宅を、自力で確保することが出来ない住宅に困窮している世帯に対して住宅を供給するとなっており、決して定住を目的としたものではないと見做していません。</p> <p>しかしながら、住環境の整備は、7垂水市人口ビジョンにおいても重要な施策としてとらえておりますことから、8垂水市民間資金活用集合住宅建設促進事業など、民間資本の活用を含めた住宅の建設について、政策として建設促進を進めております。</p>
○修学旅行生に農業体験をさせる(民泊など)			
○イベントをはじめ、地区の行事を充実させる			
○軽トラ市を開催する	—	—	
○南港に魚釣りのためのレジャー施設をつくりたい	—	—	(用語説明)
○空き家を有効に活用したい	<p>○空き家や空き地を有効に活用したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用してサロン等を行う ・駅跡への販売所づくり ・空き地を活用した肥料、苗づくり ・子どもから高齢者が集い、世代間交流できる場づくり 		<p>5.垂水市公営住宅等長寿命化計画……公営住宅の用途廃止・建替え・維持補修・長寿命化を進めるための計画。平成25年度から34年度までの10年計画。</p> <p>6.最低居住面積水準……健康で文化的な住生活を営むために必要不可欠な住居面積。住生活基本法で国が定める水準。単身者では25平方メートル、世帯人数に応じて増。</p> <p>7.垂水市人口ビジョン……本市における人口の現状を分析し、人口の将来展望を示す計画。</p> <p>8.垂水市民間資金活用集合住宅建設促進事業……1棟当たり4戸以上の集合住宅を建設した法人・個人に対して、10年間固定資産税を減免する事業。税務課所管。平成31年度から、垂水地区以外は10年間全額免除。</p>
○若い世代のための市営住宅を建設してほしい			
○定住に関する住宅の建設については、政策として建設促進を進めております ※5			

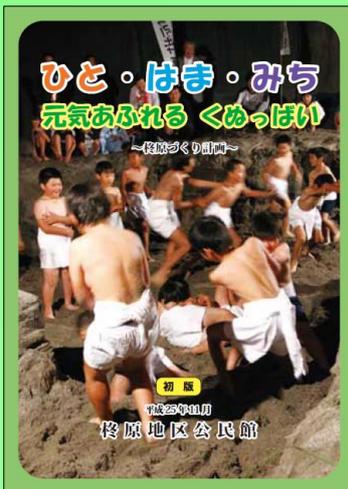
柘原づくりの歩み

平成25年度～30年度

過疎地域等
集落ネット
ワーク圏形
成支援事業
(総務省)

地区の大目標

ひと・はま・みち
元気あふれる くめっばい



- ・垂水国道維持出張所、垂水市土木課と、国道沿いの植栽に関する協定締結(ボランティア・サポート・プログラム)

- ・植栽活動の実施(花苗、カラーコーン等の整備)

- ・刃物研磨機の整備

- ・LED防犯灯の整備(その道、はま道、国道沿い)

- ・地区をPRする看板の設置(地区アピール看板、切目王子神社)

- ・地区公民館の整備(床改修、調理室改修等)

- ・伝統行事、伝統芸能の保存DVD制作

- ・柘原づくり計画の策定(市内6地区目)

- ・網戸張り替え、刃物研ぎ機材の整備
- ・網戸張り替え、刃物研ぎサービスの実施

H26年度



植栽活動(H26年度)

H27年度



地区PR看板の設置(H27年度)

H25年度



網戸張り替えサービス(H25年度)



刃物研ぎサービス(H25年度)



LED防犯灯の整備(H27年度)



地区公民館のフローリング化



調理室備品整備



伝統行事等のDVD制作

- ・公民館調理室の整備
(流し台の整備や水廻り工事、調理機器等)
- ・公民館裏への遊具、イス、テーブル整備
- ・植栽活動の実施

H28年度

- ・公民館調理室の改修
(一部フローリング化)
- ・国道植栽帯の土入替え
- ・植栽活動の実施

H29年度

- ・柘原づくり計画の見直し
- ・植栽活動の実施

H30年度

見直し計画による柘原づくりへ



調理室の機器整備
(H28年度)



公民館調理室のフローリング化(H29年度)



遊具設置



植栽帯の土入替え
(H29年度)

(2) 柘原づくり計画見直し委員会名簿

No.	柘原地区公民館役職等	委員会職名	委員氏名
1	公民館長	委員長	森山 稔
2	公民館主事	副委員長	梶原 誠
3	振興連会長	議長	池田 正和
4	振興連副会長	委員	川畑 博昭
5	市議会議員	委員	篠原 静則
6	公民館監事	委員	黒川 徹
7	公民館監事	委員	中谷 明潤
8	福祉文教部長	委員	岩元 勇男
9	婦人協力員会長	委員	森山 美鈴
10	体協理事	委員	岩元 舟次
11	体協理事	委員	前田 猛
12	柘原小教頭	委員	川村 昭平
13	柘原小PTA会長	委員	岩元 一夫
14	おやじの会	委員	池田 宇一
15	交通安全分会長	委員	石躍 幸利
16	主任児童委員	委員	中谷 いつみ
17	民生委員・児童委員代表	委員	上籠 典子
18	公民館理事	委員	森永 公洋
19	公民館理事	委員	池田 薫
20	公民館評議員	委員	迫田 滝人
21	公民館評議員	委員	外村 まつ代
22	公民館評議員	委員	本城 健一
23	公民館長推薦	委員	篠原 眞知子

(3) 策定経過

主な取組	日付	会議の名称	参加者数
・計画を見直すことを組織決定	H30/4/14	柗原地区公民館総会	50名
・計画見直し方針の決定、行動計画の振り返り	H30/6/19	第1回柗原づくり計画見直し委員会	24名
・行動計画の振り返り	H30/7/10	第2回見直し委員会	22名
・新たに取り組みたいこと、さらに充実させたい行動計画について班協議	H30/7/31	第3回見直し委員会	23名
・行動計画の確認 ・具体的な取組、要望事項等の班協議	H30/8/28	第4回見直し委員会	22名
・具体的な取組、要望事項等の協議 ・「だれが」の項目について協議 ・市への協力依頼項目の協議	H30/9/25	第5回見直し委員会	20名
・市関係課長等と見直し行動計画案の要望事項について意見交換	H30/11/6	第6回見直し委員会	26名
・計画書の仕上げ作業 ・見直し計画書原案の承認・決定	H30/11/27	第7回見直し委員会	17名



▲市関係課長との意見交換（第6回見直し委員会）



▲ 浜駅伝(正式名: 柁原海浜親子駅伝大会) (平成 30 年1月2日)

見直し版あとがき

わたしたちは、平成 25 年度に 10 年間の地域振興計画「柁原づくり計画」を策定し、地域づくりに取り組んできました。

行動計画に基づいて、網戸張り替え・刃物研ぎサービスの開始、地区公民館のサロン化に向けた改修の他、住民一丸となつての植栽活動は、美しい柁原づくりを進める代表的な取組として浸透するなど、地域活性化につながる様々な取組を実施してきました。

計画期間の中間期を迎えた今回、今後の中後期における地域づくりをさらに展開させていくため、計画見直しを行いました。

見直しは、これからの柁原づくりを熱い想いで考えていただける方々で見直し委員会を構成し、協議を進めてきました。

これまで実施してきた行動計画の振り返りを行い、新たに取り組みたいこと、既存計画の充実を図り、見直し版が完成しました。

わたしたちは、地区の大目標「ひと・はま・みち 元気あふれるくぬっばい」の下、この柁原づくり計画見直し版により、これまで以上に協力し、もっと住みよい柁原づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

最後に、多忙な中、柁原づくり計画見直しに携わっていただいた委員の皆様、市役所関係各課の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成 30 年 11 月 27 日

柁原地区公民館長

柁原づくり計画見直し委員会委員長

森山 稔

ひと・はま・みち
元気あふれる くぬっばい
柁原づくり計画（見直し版）

発行年月 平成30年12月
編集・発行 柁原地区公民館
柁原づくり計画見直し委員会
〒891-2116
鹿児島県垂水市柁原 3454 番地
☎0994-35-2622
協働制作 垂水市役所関係各課
柁原地区地域担当職員
企画政策課地域振興係

